

式辞 桜の花びらが優しくそよ風に舞う今日のこの佳き日を迎えられるた新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、お子様のご成長を心よりお祝い申し上げます。

ご来賓の皆さま、公私ともにご多用の中、第四一期生の入学式にご臨席いただき、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは、高校生

活をどのように送っていこうと考えていますか。福泉高校の教職員は、「自律」「協調」「努力」、この三つ言葉を校訓に、学業や行事を通して、生徒一人ひとりの夢の実現を応援していきます。

皆さんのご入学にあたり、福泉高校の教職員を代表して、私から皆さんに伝えたいことがあります。それは、「将来の自分を想像して高校生活を送って欲しい」ということです。

高校生活では、自主性が尊重されます。授業や行事など、「努力するか」「努力しないか」は自分次第です。さまざまなことに「挑戦」し、自分の可能性を存分に発揮されてください。そして、いろんな人と関わり、繋がり、

人に感謝し、人に感謝される「器が大きく、温かい心を持った人」に成長して欲しいと切に願います。

この3年間で振り返ると、新型コロナウイルス感染症に翻弄された日々でした。特に、

皆さんが中学校に入学された年は、全国一斉休校となり、マスクの着用を強いられました。人との距離や会話を制限された日々や、分散登校による授業、たくさん制約のある中で学校の行事などいつもとは違う生活を過ご

しました。皆さんは、その中で、日常生活の有り難さ、例えば「友達とあって会話をすること」、「学校に通い、授業を受けること」、当たり前なのがどれ程有り難く感じたことでしょうか。また、「制約のある中で工夫するこ

と」、「相手の立場を思いやること」、「我慢すること」など与えられた環境のなかで、喜びや楽しみを見つけて対応する力を身につけられたと思います。

感染症への不安が解消されつつあるいま、

これまでやりたいけどできなかったことや、人と関わることを思う存分やり遂げ、皆さんの中に眠っていた力を発揮し、明るく、輝きのある高校生活となるよう、福泉高校の教職員一同、いつでの皆さんの力になり、それぞ

れの夢の実現のため、全力でサポートしていきます。

繰り返しになりますが、さまざまなことに「挑戦」し、自分の可能性を存分に発揮され、夢を実現されることと、そして、いろんな人

と関わり、繋がり、人に感謝し、人に感謝される「器が大きく、温かい心を持った人」に成長されますことを切に願い、私の式辞とさせていただきます。

令和5年4月10日
大阪府立福泉高等学校校長 吉村 宏美